

残暑に想う



平岡地区町内会連合会

会長枕扇

陰

な雷でしたね。驚きました。

平岡地区町内会連合会
清田区平岡7条3丁目9-25
平岡地区会館内
☎ 883-7100
発行責任者 松尾 隆
編集責任者 妹尾 裕司
渡辺綱太郎

防災に強いまちづくりを

北洋大清の政治

共有・地域の活動への支援
の視点から
(一)避難場所としての学校見
学会

8月23日、平岡小学校

・ 使用除外施設や備蓄物
資の確認等

(二) 各地区等で実施する防災の取組の情報共有

(三)町内会のD.I.G.(災害図と訓練)の取組促進に向

二、清田区民フォーラム（15）

◎清田区誕生15周年を記念

○会場：清田区民センター

○ 内容
・防災に関する計画の上演

防災に関する記念講演 防災の取組に関する

事例発表

自分たちで守る

卷之三

次は火事です。清田区では平成18年6月6日以降火災による焼死者ゼロを継続し、9月7日現在で2285日を継続中です。札幌市の「焼死者火災ゼロ連続最長記録」は平成10年から16年にかけて清田区が樹立した「2367日」でこの記録を更新する日は本年11月29日です。記録の更新を目指し火を使う寒い季節に向け防火意識を高め、消防関係者と地域住民とが連携を図り気を引き締めて参りましょう。

最後は「親父です。この言葉がよく人の口にされていた頃は、人生経験が豊かで威厳のあるお父さん、家庭内での地位は絶対的なもの、怒ると怖かつた記憶がありました。職場の先輩や責任者を親父さんと親しみを持つて呼んでもいましたね。

東日本大震災の発生から1年半がたとうとしています。札幌市が行つた最新の調査では、札幌市やその周辺に存在が想定されている断層で地震が起きたと、最大震度7の搖

広報「ひらおか」No.37で災害に対する備えが十分になされている状態を目指す五つの目標像と平成23年度の取組について紹介させて頂きました。又、防災アンケートの結果をもとに地域防災力の向上のためのパンフレット「わが家の防災計画」(保存版)を作成し、各家庭に配布しました。平成24年度は、昨年度の取組を更に継続発展させるため、3つのことを中心に取組んでいきます。

一、広く区民参加を盛り上げる観点から

(一) 防災標語、防災川柳の募集

(二) 清田ふれあい区民まつり(7月21日実施)における防災展示コーナーの設置

二、防災グッズの展示

・防災パンフレットの配布

・子ども防災クイズの実施

・町内会・団体役員の情報

（一）避難場所としての学校見学会

・ 8月 23日、平岡小学校 見学

・ 使用除外施設や備蓄物資の確認等

（二）各地区等で実施する防災の取組の情報共有

（三）町内会のD.I.G（災害図と訓練）の取組促進に向けた啓発

三、清田区民フォーラム（15周年記念）

○清田区誕生15周年を記念し11月4日(日)日中に開催。会場：清田区民センター ホール

。内容

。防災に関する寸劇の上演

。防災に関する記念講演

。防災の取組に関する事例発表

自分たちのまちは
自分たちで守る

『わが町内会の
自警防災訓練』

「自分のことは自分でもうる」。
「自分たちの町内会は町内会がうる」。



この間、町内会発足当時からの会員は当然のこととして高齢化し、新しい会員との世代交代もなかなか思うように進まず、町内会が企画する各イベントへの参加意識が希薄になってきているという悩みを抱えながら今日に至りました。

一昨年発生した東日本大震災を教訓に『自分のことは自分で守る』・『わが町内会は町内会が守る』ことの大切さを痛感しました。また、災害発生時には、約8割が近隣住民が救出しているというデータを根拠に町内会の隣同士の支えあいの仕組みづくりが『命』を守ることに繋がることも学びました。

このような町内会づくり

平岡親和会町内会 会長 佐藤一三三吉

- ・役員一同熟慮を重ねて企画したのが、昨年8月21日初めての試みとして実施した『ふれあい祭り』でした。
- 午前中の消防署ご指導による自主防災訓練と午後からの炊き出し訓練の2部構成で行いました。
- 午前中の自主防災訓練の内容は、
 - ・防火資器材の取扱説明
 - ・訓練用消火器による消火訓練
 - ・AED取扱訓練など行いました。

あれあり祭り
吉野町会場
第一回

を実現させるためには、今一度希薄になりつつある町内会の人と人とのふれあいや絆を取り戻すことが大切であると考えました。人と人との絆づくりと一人一人の防災意識の高揚を何とか結び付けて実施できないか

◎自主防災訓練では初めての体験の方が圧倒的に多く、大変有意義な訓練になつたこと

◎何よりも訓練と焼肉バー、ティーを合同実施したことにより子供たちは勿論のこと会員同士の触れ合いと交流が深まつたこと

以上の二点が成果として挙げられます。

約30名の役員が中心となり実行委員会を組織し企画

□ 午後からの『炊き出し訓練』の内容は、たくさんの方の親子が気軽に楽しく参加できるように『焼肉パーティー』形式で実施。

また、昨年に引き続きバケツリレーや消火器やAEDの使い方に加え、火災再

タンカーの組み立て方や活用法等をご指導頂き、理解できました。

の方が理解していないのが実態という理由でした。

ことを中心的な目的にしました。会長宅にどんな機材があり、どう組み立て、ど

旨で開始しました。第二回
目との違いは、会長宅で管
理している一番身近な「防
災幾才」を知り、活用する

- 小さな町内会なので、毎年開催していくうえで、財政の裏付けに不安があること（最低、2年に1回は開催したい）
- 参加者の広がりと深まり「拡大と浸透」をいかに図っていくかが挙げられます。
- この2年連続開催の自主防災訓練を通して、自分の町の町内会は自分たちで守る町内会づくりを目指し、今後も人と人との絆づくりを深め合うため努力しているのです。

から防災意識の向上に期待できること。

○会員が増えてきたことにより、AEDや消火器など実践でも使えるという確信が持てつつあること。

○親子で一緒に参加する会員が増えることにより、親子の触れ合いと幼少期

現実験や心肺蘇生法なども訓練し、延べ約100名の方が参加しました。

女性部による
防災教室と
春風台の自主防災

女性部長 萩原みどり

春風台町内会は、555戸の会員を有する平岡町連で2番目に大きい町内会です。

自主防災のマニュアルは以前からあつたのですが、東日本大震災を機により実態に見合つた実践的な『春風台の自主防災（防災マニュアル）』を再整備し、今年の5月全戸配布しました。

その中の自主防災組織の【給食・給水班】を役割として担う女性部が、いち早く『女性部による防災教室』として、初めての防災訓練

春風台町内会は、555戸の会員を有する平岡町連で2番目に大きい町内会です。

自主防災のマニュアルは以前からあつたのですが、東日本大震災を機により実態に見合つた実践的な『春風台の自主防災（防災マニュアル）』を再整備し、今年の5月全戸配布しました。

その中の自主防災組織の【給食・給水班】を役割として担う女性部が、いち早く『女性部による防災教室』として、初めての防災訓練

女性部による
防災教室と
春風台の自主防災

自主防災で 地域を守る



また、物干し竿や毛布を利用して女性でも出来るる救護者の屋外への運搬法など



春風台の自主防災

前半は、消防署による救命処置について、心肺蘇生法、AEDの使い方について親切丁寧な指導による訓練がありました。特に、心肺蘇生法は①119番通報②AEDを持ってくる③心肺蘇生の3つのパートを参加者全員が体験しました。見るとやるとでは大違ひ。大変難しかつたですが、消防署の方の丁寧な指導の下、冷や汗あり、笑いありで有意義で楽しい勉強会になりました。

後半は、『災害時の食と水について』①井戸水の場所の確認②電気を使わずボタルブルコンロと鍋を使用した炊飯実演を行いました。

に挑みました。

実践的な訓練も大変勉強になりました。



防犯・防災部と連携しつ女性部独自の防災訓練は、町内会としても初めての自主防災訓練となりましたが、都合が悪く参加できなかつた女性部員から、次回は是非参加したいという声も寄せられ、実施して良かつたと思つています。9月16日に開催される町内会全員を対象にした『秋の防災訓練』につながる防災教室になりました。

防災部長 元田 歴

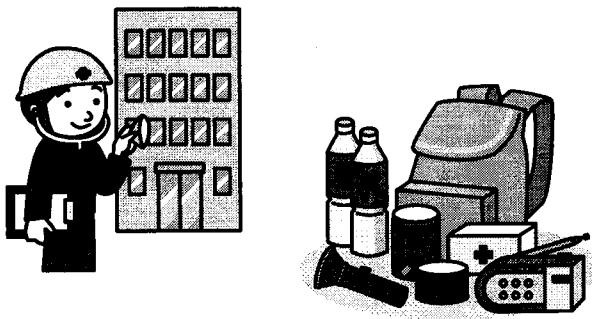
初めての自主防災訓練になりますが、計画していることを紹介します。

消防署による防災に関するDVDを約30分視聴した後、約80名の参加を期待し、40名程度の2班編成で、1班は屋外への避難誘導と消火訓練。2班は、負傷者の救助・応急方法（人工呼吸と心臓マッサージ、AED

秋の防災訓練



の操作、止血法など）を訓練。最後に参加者全員で、会館で管理している救助用器具（ジャッキ、かませ木、金てこ、ロープ、搬送器具等）の取り扱いについて訓練をします。



世帯数が少ない為、町内会役員は全世帯がくまなくこなす仕組みになつております。個々の世帯が希望する役員及び部員を担当しています。

町内会における行事も、以前は公園の草刈り、ラジオ体操、盆祭り等々、各種有りましたが、人手不足と町内会員の仕事軽減ということで、現在は行つていません。ですが今年度は、町内の親睦を図ろうということとで、平岡公園へ遠足にかけることとしました。幸い町内の中に平岡公園について詳しい方がいらっしゃつて、道案内をしていただけ、公園の成り立ちや植物について説明を受けられるということで、楽しみにし

見守り対象者を70歳以上と設定したものの、65歳以上の方は35名、全人数が152名ですから、実に23%。4.3人に一人の割合になります。日本の縮図の様な数値です。閉鎖的された環



町内行事を計画する役員会

当町内会は、50世帯で設立して29年になります。世帯数の増減はほとんど無く、地理的には、旧拓銀敷地の西側面に有り、大型町内会である東町内会と、春風台町内会に挟まれた形になります。

町内会近況

平岡ミサワ町内会

会長 松坂 宏



境上、若返りの要素は薄く、
今後の大きな課題となつて
います。年金問題が無いの
が、せめてもの救いでしょ
うか。

人が高齢になることは、
仕方のないことですから小

交流会のチラシ

回覧板の手渡し 月に
一回か二回の「ゴミ手伝
いなどを計画していま
す。

三町内会は昭和六三年に設立、現在でも二三四世帯という規模の小さい町内会ということもあって、お互いに親睦を深め、協力し合うという雰囲気が充満しております、本当にありがとうございます。ことだと思っております。

町内会の行事については、平成一六年までは、「夏祭り」をはじめ、「子供向けのイベ
ントなど行つていました。現在では、「夏休みの「ラジ
オ体操会」、老人クラブの「新年交礼会・长寿をとも
に祝う会」など開催するくらいで、この面では、少子
高齢化という、時の流れのなす業には、抗することは
できないのであります。

さて、町内会の運営に当たつて何を優先させるか。それは、会員の日々の生活

これにあわせて、各ステーションを整備したことで最近では、カラスが激減しトラブルも少なくなり、同時に、ごみステーションも清潔に管理されていますので、日々の皆様のご尽力に対し、感謝しております。

三月三日　おめでたす。また、
覽表を作成し、全家庭に配
布して、それぞれが、自賞
をもつて責任を遂行する。
このことを期待して平成一
三年度から実施していると
ころであります。

に直結している「カレスとの知恵比べ」という問題の処理であります。

平岡小学校前町内会

会長 小澤 正人



「実態に即した」町内会活動を

次に、平成会（老人クラブ）の活動状況をご紹介します。

翌年に「会員の教養を高め健康の増進、親睦の深化、地域への貢献」などを目的としてスタートしました。

主な活動としては

- * 町内の公園清掃の実施
- ・リズムダンス・卓球
- ・書道・カラオケ
- ・パークゴルフ等

* 行事

- ・旅行・長寿を祝う会
- ・花見会・新年会等

現在は、会員も減少して二十数名ではありますが、縁あって生活基盤を同じくする者が、その「出会い」を大切にして、交流を深め理解しあつて「しあわせ感」を共有することができます。何よりの楽しみと、会員は喜んで参加しております。



パークシティ平岡町内会 十一ヶ月の活動

後は、クリスマス会で楽し一日を過ごします。一月は、新年交礼会です。



会長 船木 忠由

パークシティ平岡町内会は、創立二十三年になります。一七八世帯でスタートし、現在四一六世帯九九〇人の大所帯となりました。

（清田区より四ヶ所受託）
花壇の手入れをします。

六、七月は、班長役員の各業務と共に、最大のイベント夏祭りへの準備です。

八月は、いよいよ夏祭り本番です。子供会で夏休み中平岡中央小学校のご協力により、太鼓の練習を重ねてきました成果を披露する時です。

九月は、女性部の親睦日帰り旅行です。家事から解放され大いに楽しむことであります。もう一つは、ボウリング大会です。昨年は、小学生から八十八歳迄五十名が参加、終了後はバーベキューを楽しみ、一足早い体育の日を満喫しました。

二月、毎年この月は排雪作業です。町内4kmある市道を五日間かけ行われます。

町内は見違えるほどきれいになります。

三月、年度末です。班長役員の方々には、「一年間大変ご苦労さまでございました」と、慰労を兼ねた食事会で終わります。

最後に、パークシティ平岡町内会は、比較的若い町



町内会とは、もともと「向こう三軒四隣」が始まりです。戦後の食糧難の際には、家族を守る為の自衛の組織でした。習慣の違う住民同士が、その絆を深められたのが、現在の町内会の始まりだと言われています。

年間行事を紹介します。

年度始めの四月は、総会

でスタートします。

五月は、清掃（アダプトプログラム）・公園の草刈

ロールと清掃・公園の草刈で収穫祭を企画し、子供会でカレーを作るようです。十一月は、今年から試験的に植えたジャガイモ・南瓜等で餅つき会を、二十三日に行います。風連より取り寄せた25kgの餅米でつきた餅を美味しく食べます。その

後は、クリスマス会で楽し一日を過ごします。一月は、新年交礼会です。



放火火災を防ぐポイント

放火は深度人目を避けて、無作為、発作的に行われます。
放火火災を防ぐためには、「放火されない環境づくり」が大切です。

家の周囲に燃えやすいものを置かない	物置・車庫には必ず鍵をかける	ごみは決められた日の朝に出す
-------------------	----------------	----------------

放火火災を防ぐポイント
を確認いただき、火災を未然に防ぎましょう

焼死者火災ゼロ

清田区では

3000日を

目指しています!!

市内最高記録23368日

11月29日達成予定

内会ですが、確実に高齢化が進んでいます。対策として三年前から高齢者対策事業をスタートさせています。更に、町内会の将来を展望する検討会「二〇二〇年への展望（フレーフレー会）」を立ち上げ、具体化に努めています。

又、重要課題である「防災マップ」を作成中です。

短歌・川柳・俳句

木彫りに魅せられて

パークシティ平岡町内会
大西 慶子さん聞く

平岡に住み始めた頃、木彫り講座を受講したところ、その優美なデザインと木の持つ深い味わいの虜になつたそうです。その後、ご自宅で木彫り教室を開きました。大西さんの木彫りは、「アカンサス木彫り」と言います。「アカンサス」とは、地中海沿岸に密生する低木性植物で、その美しさから別名「美術の花」とも言われます。

ご自宅を拝見すると、木彫りの大型鏡や「ージャスな食卓テーブルが目に付きます。制作に一年以上費やした大作です。壁には、時計・湿度計等が飾られ、ミニ美術館のようです。

大西さんのお話です。

「アカンサス模様に魅せられて、二十数年が過ぎました。小の作品完成に喜びを感じ続けて参りました。生徒さんと談笑しながら教室を開いてあります。これからも、体力の続く限り彫り続けること思います。」

(編集部)

短歌

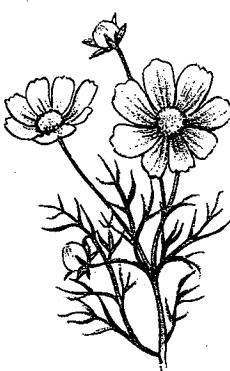
平岡わかば会 菊地ツルエ

- ラベンダー押し花入りの友便り
無音を詫びて香りの嬉しさ
- 雨上りコスモス揺れてトンボ舞い
惜しむパークゴルフの音も冴え
- 故郷より共に移住の三十年
庭に咲き継ぐ薔薇に乾杯
- 少女期に父の尺八一度とて
聴くも叶はず悔いのひとつに

・秋惜しむ 眼下拡がる 運河あり
・長月に 逆らう猛暑 また猛暑

平岡第一自治会 佐藤 和伸

俳句



平岡わかば会 阿部 和子

- 八十の双手よりこぼれる無情の風
- 拗ね者のあがき世間を小さく生き
- 無駄のない人生日記は明日を読む
- 感情論捨てて瓦礫の処理急げ

平岡長寿会 坂野 島翁

- 故郷より共に移住の三十年
庭に咲き継ぐ薔薇に乾杯
- 少女期に父の尺八一度とて
聴くも叶はず悔いのひとつに

平岡長寿会 坂野 島翁

川柳



●たくさん寄せられた作品の中から、お一人一点づつ紹介させていただきました。

死者32万人といえば非常に大きな災害です。これはM9・1を想定した南海トラフ(駿河湾から九州東方沖まで700kmにわたる海溝、過去約400年間に3回の大地震が発生)の地震と津波による被害状況を2つの有識者グループで検討し紙上(A新聞8月30日)発表したものであります。

この「正しく恐れでほじる」という一言の意味を私たちは慎重に受け止めていきたいのです。行政の各セクションも勿論のこと、民間のいろいろな組織も生活している地域の実情を踏まえた防災への認識や対策法を編み出していかなければならぬと示唆したことだ言葉であると考えたいのです。

平岡地区「町連」広報も「防災」について3回(36・37・38号)の特集を組みました。実態としては緒についたといふと考えています。町内会は不特定多数の組織です。共通の課題認識に至るには、その基礎に感性の響き合う人間関係(絆)が大切と主張している町内会があります。

今後、こうした課題への迫り方をみなさないで協力をいただきながら取り組みを強化してまいりたいと思っています。よろしくお願いいたします。

(編集部)

おとかき